

問 がん対策は、予防・検診・治療の最前線基地である市民病院の充実が必要だ。

市長 市立病院では、一定のがん治療は可能である。4月に就任された弥栄病院の副院長は、がんの専門医で、

緩和ケアも対応できる状況だ。

問 肝がんは、C型肝炎ウイルス等の感染が

問 肝がんは、C型肝炎ウイルス等の感染が主な原因である。一次予防である肝炎ウイルス検診や肝炎治療は、市長 4月より、ウイルス性肝炎治療の公費

丹政会
岡田 修

医療助成が実施され、インターフェロン治療が増えている。久美浜病院では、府より、緊急肝炎ウイルス検査業務の委託を受けて、無料検査を行っている。

問 市立病院での、がん手術は多くなっている。がん診療の充実は市長 特殊な症例は院外の専門医が行なっている。がんの放射線療法は実施していない。緩和ケアは市立病院で十分行える医療だ。

弥栄病院は、訪問診療は年間数件であるが、今後は在宅サービスに力を入れる。久美浜病院は、19年度、訪問診療は353件実施している。両病院の訪問看護ステーションでは、電話対応の24時間体制を取っている。

市長 看護師は通年の募集とすることや年齢制限を47才未満から50才未満に引き上げる検討をする。

問 市民をがんから守る市立病院は、地域になくてはならない病院である。

市長 久美浜病院でがん治療は充実している。

市民が安心して、がん検診を受け、安心してがん治療が受けられるがん対策に取り組む

問 原油等原材料価格の高騰による、本市の産業・経済への影響は。市長 ガソリンが前年比25%、灯油は50%程度値上がりしている。生産コストでは、水稲で約7%、果樹では約2%の影響。また、漁業では、出漁毎に底曳網漁で約12000ℓ、イカ釣漁で約2000ℓも使用する燃料の価格が前年比で1.5倍、平成16年比では約2.5倍にもなっており、深刻な状況となっている。本市は他にも建設業など原

きだ。国の緊急総合対策の本市への実効性は市長 広く各分野に対応されている。府の対応と整合を取りながら積極的に活用したい。

行財政改革は

問 18年度の事業を、

市長 50名の職員が登録。区統合、広報誌発行、自主防災組織等を支援し、自己研鑽や地域との関係などにメリツトがあった。

今年「活動支援に関する規定」を設置した市民局のスリム化が避

だけではなく倫理観や
 誠実性といったコンプ
 ライアンスの確立を。
 市長 適正な運営を大
 前提に市政を進める。
 教育委員長 信頼が失
 墜する結果になり陳謝
 する。再発防止を図り
 信頼回復に努める。

燃料費割合が高い業種

市長 できる限りのことをやる

丹政会
森口 亨

材料の価格割合が高い業種が多く、できる限りのことをやらなければいけない。

20年2月に外部評価しても予算に反映できない。実施時期は適切か市長 反省している。

けられない中で、課題と方向性を検証する。



問 総務省がガイドラインを出してきた背景には、全国の自治体病院が最近急速に赤字を増やしていることがある。その原因として医師不足、2年ごとに改定される診療報酬と薬価が改定のたびに引

き下げられたこと、交付税が年々減らされることなどがあると思うがこれらが本市の病院にどう現れているか。

市長 その通りだ。18年度にはずいぶん病院の経営が厳しくなった一つには、診療報酬が

3年後には経常収支比率を黒字にするという目標がある。これができなかった場合どうなるのか。

市長 その場合は経営形態の見直しも視野に入れてくださいということだ。

二次医療圏（宮津・与謝・京丹後）での再編ネットワーク化が書かれているがこれについてどう考えているのか市長 そのようなことは考えていない。

問「今までは国の定める繰出基準を下回る

て市長の考え方に變化があったのか。

市長 この間の制度の變更、経営悪化を受けて交付税積算基準から公営企業繰り入れ基準に移ってきたということだ。

日本共産党
松田 成溪

3点数パーセント引き下げられ、その影響はそれ以上のものであった。また、医師の大病院への引き揚げも大

問 見直しの形態だが久美浜病院は「民間譲渡」にもチェックしてあるが。

市長 単なるミスというところで理解を……。

繰入れしか行っていないが、今後は国の定める繰出基準に基づき繰入れる」とある。それは8億から8億3

問 周沢・河辺・口大野保育所を統合して「大宮北保育所」とする計画が進められている。口大野保育所のアンケートでは「小規模で行き届いた保育ができる」など「今のままでいい」との答えが圧倒的である。

お母さん達の思いを尊重して、今のままで行くべきである。

市長 大切な施設であり、町づくり全体にもかかわることであるので、検討委員会での議論を見守る。いろんな

策は、民営化でなく、行政の責任で質の向上を図るべきである。

市長 公的な関与は残していく。良い意味での競い合いができる。

問 峰山・網野地域で計画されている民営化への対象保育所が「峰

ど不安の声があがっている。説明会を早くすべきである。

市長 今年中くらいに保育所を決定し、同時に地域への説明に入る

暮らしへ支援を

問 投機マネーの横行

町では、福祉灯油が実施された。市も支援を
実施せよ。

市長 9月に入り灯油
やガソリンが、10円程
度値下がりしているが
暮らしの資金の活用等
で生活支援を図ってい
きたい。



民営化の対象・嶋

市長 意見を尊重して見守る

日本共産党
平林智江美

可能性が出てくる。

問 民営化すると、不安定・低賃金の保育士等への置き換えが進み、保育の質が低下するなどの市の責任が後退する

山・新山・網野・網野
南・浅茂川」と絞られ
てきた。しかし、地元
にはまだ説明もない。
「民営化でどうなるの
子どもら」 「そんな

による、原油高騰や諸物価の値上がりで、市民の暮らしはますますきびしくなっている。特に弱い立場の方や福祉施設などへの支援が



民営化の対象・峰山保育所



側溝整備で浸水対策を

問 市の防災マップに、危険箇所の表示があるか。豪雨などによる浸水・冠水した地点も随時更新すべきだ。周知は、できているのか。

市 全戸配布した防災マップに浸水深0.5、5m未満6段階に色分けし表示している。23号台風浸水エリアも表示している。日ごろの備えや指針としてほしい。今後、更新も予定している。

問 危機管理監を設置し管理体制を整えたが、その意気込みや行動、

道路環境整備の進捗は
問 道路側溝整備は市民の交通安全や災害防

自主防災組織の現状、今後の防災組織の進み方等所見を伺う。
市 危機管理監は今般設置した。色んな危機を想定し危機管理マニュアルの作成を行い、市民の安全安心を進めて行く。現在63団体で、リーダー研修会等充実を図り、多くの組織を設立していきたい。

介護現場の 人材確保は大丈夫か

丹政会
三崎 政直

問 介護サービスの現場における人手不足が全国的に広がっている。利用者は制度スタート時から6年間で約338万人と倍増している。介護関連の求人は高まっている一方、離職率も高いと聞かすが本市の実態はどうか。

市 職員募集をして、も応募が少なく、また施設整備をしても人材確保が一番の問題と聞いている。現在のところ問題は出ていないが、今後施設整備が進むと新たな課題となる可能性がある。

問 近隣の自治体で、人員不足によりサービスの一部停止に追い込まれた事業所もあると聞く。そのような状況が起き、利用者に不安を与えるような事態に陥らないための対応策が必要と思うが。

市 介護労働実態調査では「過去2回の介護報酬引き下げにより十分な賃金が払えず、人材確保が困難な状況である。」との報告もあり、財政的支援を国・府に要望している。今後、第4期高齢者保健福祉計画策定の中で、介護認定者の見込みを踏まえ、事業者の意見も十分に聞きながら取り組んでいく。



第4回京丹後市総合体育大会開会式

副市長の人事は いつになるのか

市 長 年度末を目途とつづる

丹政会
池田 恵一

問 副市長不在が2カ月余り続いている。この事は市政の停滞を招き、市民・職員・議会にも影響が出てくる。任命の目途について尋ねる。

市 とても重要な人事だと認識している。

問 副市長不在が2カ月余り続いている。この事は市政の停滞を招き、市民・職員・議会にも影響が出てくる。任命の目途について尋ねる。

市 世のならわしとして年度末という事も一つの切り口を考えている。最適な人事を考え議会に提案したい。

問 7月の豪雨で京丹後市にも多くの水害が発生した。23号台風の時も指摘したが、道路

除雪協力業者への 優遇処置は

市 長 今年度から取り組む。
詳細は検討中

丹政会
中西 定征

問 地元のためにということで除雪以外に殆んど使われる事の無い重機を高額の維持費を費やして保持している建設業者も、この不況の中、そのことも限界にきている。以前、除雪協力業者に対し、入

丹後の二次医療圏としての機能は
問 丹後二市二町の丹後医療圏が医師不足により入院治療完結型を目的とした二次医療圏としての機能を果たせなくなっている。府等

市 入札関係では、除雪協力者専用の入札枠を検討中。幾つかの評価項目を挙げ、詳細をつめている状況。今年度から取り組みたい。

問 丹後二市二町の丹後医療圏が医師不足により入院治療完結型を目的とした二次医療圏としての機能を果たせなくなっている。府等



地域医療の充実を



これで川ですか？

問 本市では国営農地開発が規模に行われ、それによって土砂が流出し、堆積土砂の原因となっている。住宅への浸水被害を防ぐためにも、集落に係る河川の浚渫が早急に求められているが、

市長 予算の制約もあり、現地を確認しながら優先順位を付け予算化を努力していきたい。

問 豪雨時の道路冠水被害を防ぐための高上げ工事は必要であるが、その後の二次被害の対策が望まれる。過日、

弥栄町内の国道で道路高上げ工事が行われ、その結果、7月28日の豪雨によって、道路より上流部の住宅が床下浸水を受けた。この被害は関係者間の調整が不十分であったことが問題であると思うが。

市長 今後は、道路、溝蓋等の工事施工の地元との調整は勿論、工事によっては京都府も含め充分調整していく。

ユネスコのジオパーク

問 ジオパークは地質遺産保全と教育的活動を、地質遺産を観光の対象とするジオツーリズムを通して地域社会の活性化を目指す地質公園である。山陰海岸国立公園を中心とする本市を含め3市3町で、山陰海岸ジオパークの認定に取組中であるが、琴引浜の鳴き砂の供給源と言われている砂丘の砂は、地質学的にも価値のある高温石英が約50%含

まれている貴重な砂である。その砂の大規模な採砂工事は地質遺産の破壊であり、専門家の現地調査が行われるときに、ジオパーク認定にマイナスな事象と思われるが。

市長 鳴き砂の保全は第一に考えている。申請を受ける中で精査もしているし環境調査も実施されているので、ジオパークへの影響はないと考えている。

障害者の交通費助成

問 福祉タクシー券などによる外出支援は障害者にとって大きな支え。燃料等の高騰など弱者の生活が脅かされる中ガソリン券との併用など利用範囲の拡大を望む声も多い。利用

者のニーズに沿った制度の弾力的な運用を！

市長 今後とも利用者や関係者の声を聞き、できる限りの支援をしていきたい。

問 腎臓機能障害者の自家用車での通院は市内の病院の場合ほとんど

ど助成対象とならない。制度の見直しが必要。

市長 近隣市町では一番手厚く支援しているが、今後とも制度として負担と支援の位置づけを引き続き検討する。

問 通所型障害者施設の自動車送迎助成は今年度限り。制度の廃止は施設の経営と通所者の生活を圧迫する。助成制度の継続を求める。

市長 自治体として送迎助成を始め支援措置に対する要望を国・府

にしつかりと行いたい。

問 安定的な入札の執行や品質確保さらには経営支援の意味で最低制限価格の引き上げや最低制限率の発表を！

市長 低価格での応札が集中しており適正な入札環境を整える必要があり来年度からの引き上げに向け検討をする。最低制限率の発表は今後の課題とする。

問 厳しい建設業にあって除雪機械に対する現行の委託料では継続

的な機械の維持管理は困難。今後の除雪体制が危惧される。除雪委託料の増額を。

市長 市独自としても対応の必要性は感じる。予算の関係もあり、すぐに対応できるかどうか今後業者の意見も聞きながら検討したい。

問 負担軽減策として空店舗や空工場の固定資産税の減免を！

市長 固定資産税は現行の法令上では減免できない。



望まれる除雪体制の堅持

空き店舗や空き工場の固定資産税の減免を！

政和会
行待 実



訓練を受けた追払い犬

問 京丹後市の有害鳥獣の削減計画、地元要望への対応は。

市長 22年度までに被害の20%削減目標。地元要望については電気柵・金網が19年の2.5倍、約5千万円の要望があり、国、府の補助も受

けて100%要望に対応できた。捕獲檻は要望107基に対して50基以上で対応しているが、管理上無理である地区もあり、今後前向きに検討の予定。

問 山間地、限界集落等で防止ネット、電気

柵をすり抜け、田畑等に近づく猿、猪、鹿等を威嚇し追い払う、「追払い犬」を活用している府県が8県、検討中10県。犬は6ヶ月の訓練が必要だが普通犬でよい。訓練費は行政で負担していると聞いている。市の方針は。

市長 各地で効果が確認されているので、今後、府・農家の理解、協力を得て導入を検討する。

問 化学合成した唐辛

子の5千倍の辛さで、鼻などに触れると鼻を刺激し獣を遠ざける獣害対策資材、顆粒、ロープ、ネット等が発売されているが、市での活用は。

市長 今後積極的に事例を調査し考慮する。

問 国保税の賦課算定方式は、市では所得割、資産割、均等割、平等割の4方式の合算である。府下では舞鶴、宮津、京丹後市のみ4方式であり11市は資産割

ではない3方式である。市でも地域経済不況により空店舗、空工場も多い。担税能力も弱い。今後府下各市の流れもあり3方式を検討されるのでは。

市長 地域、市民の経済状況も把握し今後の算定方式を検討する。

問 京丹後市の将来をも決める京都縦貫道の京丹後までの前倒し早期開通を。

市長 地域に活力を生むために強く要望する。

丹後町袖志地区の猿害防止緩衝帯の成果は

市長
猿についてはかなり効果あり。今後も整備をお願いする

政和会
大下倉禎介

ふるさと応援大使は、市外在住者に限られ委嘱しているが、地元在住者で、各分野で活躍している方にも広げる考えは。

市長 制度の充実や見直しも含め、検討して

いく。

問 観光立市として、訪れる人に対応した観光地の管理運営は。

市長 観光地のある地域の方に、愛着をもって管理していただくようお願いしている。

問 市民病院は、患者や市民の信頼を得る努力を。

市長 患者本位の医療サービスを根幹に、患者の立場に立つて、対応していきたい。

丹後町袖志地区の猿害防止緩衝帯の成果は、猿の被害が減少していること、地元住民の協力が増えていること、観光客の安全が確保されていること、などです。



来訪者もなくひっそりした市民局（丹後町）

問 3年前、市民起点の市役所を目指し、職員一同が、S信頼、S親切、Sスピードの3Sサービスアップ宣言を表明している。その評価は。

市長 全職員が、やる気をもってサービスを

意識した取り組みなので、市民の立場に立つた対応が、できてきていると評価したい。

問 市民局に、地元在住の職員を重点的に配置しては。

市長 地元在住の職員配置で、市民に密着し

たサービスができるメリットもあると思うが、一方で、他町からの職員のヒントが、地域課題の解決につながることもあるのではと考えている。今後、地域パートナーの活用や地元採用（嘱託）も検討していきたい。

問 「職員全員営業マン活動」を表明したが、その思いと進捗状況は。

市長 産業雇用対策の大きな柱の一つとして、市役所あげて推進して

いく。

問 観光立市として、訪れる人に対応した観光地の管理運営は。

市長 観光地のある地域の方に、愛着をもって管理していただくようお願いしている。

問 市民病院は、患者や市民の信頼を得る努力を。

市長 患者本位の医療サービスを根幹に、患者の立場に立つて、対応していきたい。

丹後町袖志地区の猿害防止緩衝帯の成果は、猿の被害が減少していること、地元住民の協力が増えていること、観光客の安全が確保されていること、などです。

行政マンは公僕として使命を果たすべし

丹政会
足達 昌久

市長
市役所全体でサービスアップに努めている

丹政会
足達 昌久

丹後町袖志地区の猿害防止緩衝帯の成果は、猿の被害が減少していること、地元住民の協力が増えていること、観光客の安全が確保されていること、などです。

丹後町袖志地区の猿害防止緩衝帯の成果は、猿の被害が減少していること、地元住民の協力が増えていること、観光客の安全が確保されていること、などです。

丹後町袖志地区の猿害防止緩衝帯の成果は、猿の被害が減少していること、地元住民の協力が増えていること、観光客の安全が確保されていること、などです。

国会・内閣へ
意見書提出新たな過疎対策法の
制定に関する意見書

平成16年4月に6町の合併により誕生した京丹後市は、旧久美浜町・丹後町が過疎地域に指定されており、合併後は過疎自立促進法第33条第2項の廃置分合等があった場合の特例により、過疎地域とみなされる区域（一部過疎地域）として、過疎地域自立促進計画を定め、地域間格差の是正・均衡ある発展のため、過疎対策事業債・合併特例事業債などを積極的に活用し、情報格差是正、道路整備、交通体系整備、防災対策などを実施しているが、過疎地域を取り巻く状況が多様化・複雑化する中にあって、地方行財政の急激な変化もあり、その疲弊度合いは高まっており、継続的な対策が必要となっている。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望するとともに、廃置分合等があった場合の特例として認められたみなし過疎地域（一部過疎地域）の存続を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。（要旨）

平成20年9月29日

内閣総理大臣	麻生 太郎 様
総務大臣	鳩山 邦夫 様
財務大臣	中川 昭一 様
農林水産大臣	石破 茂 様
国土交通大臣	金子 一義 様

他に国会等に提出した意見書

○地方の道路整備のための財源確保を求める意見書

問 地域経済再生・支援緊急対策（第一次）の実績とその効果及び評価と本年度の実施は市長 昨年9月に第一次地域経済再生・支援緊急対策を行った。●経営革新支援について、織物業の基盤強化

●需要喚起対策として、商工会の割引商品券の支援を行った。需要喚起に一定の効果があった。●公共工事発注について、地元優先で発注する運用を開始した。●成果・評価について、一定の成果は出ているものと考えるが、全国的な景況の厳しさも加わっている中で、第一次の対策も引き続き、加えて抜本的な雇用・産業の拡充方策について

貫として前向きに検討している。**問** その他の対策は。市長 最も重要なものは観光支援であると考えている。不況対策のみで考えずに、全体的な振興対策の位置づけで観光インフラ整備や観光ソフト施策として支援を行いたい。現在体制作りを行いながら国府の支援を受けてしっかりと進めていきたい。



機械金属など多くの事業所が操業する赤坂工業団地

地域経済再生・支援
緊急対策について市長
抜本的な雇用・産業の
拡充を図る
無会派
中村 雅

●需要喚起対策として、商工会の割引商品券の支援を行った。需要喚起に一定の効果があった。●公共工事発注について、地元優先で発注する運用を開始した。●成果・評価について、一定の成果は出ているものと考えるが、全国的な景況の厳しさも加わっている中で、第一次の対策も引き続き、加えて抜本的な雇用・産業の拡充方策について

貫として前向きに検討している。**問** その他の対策は。市長 最も重要なものは観光支援であると考えている。不況対策のみで考えずに、全体的な振興対策の位置づけで観光インフラ整備や観光ソフト施策として支援を行いたい。現在体制作りを行いながら国府の支援を受けてしっかりと進めていきたい。



弥栄丹後道路の早期着工が待たれる和田野地区

弥栄丹後道路の
整備状況は
7年後の開通を
目指したい市長
無会派
吉岡 和信

問 弥栄丹後道路・五箇バイパス・上野バイパスの整備状況は。市長 弥栄丹後道路は弥栄町内の2.4kmを今秋に、用地買収を実施し7年後の開通をめざしたい。上野バイパスは、予備設計を実施して頂

は、本市の重要課題であり市政懇談会などで協力を求めている。五箇バイパスも含め今後ルートの話が出てくるが、市役所内の連携プレーも大事であり効果的な局面で積極的に対応していきたい。

問 7月23日の丹後町中浜の木工所火災時に防火水槽の水量不足が生じ防災面で不安が残った。防火水槽の設置基準は。また航空自衛隊の早期出動と機敏な

消防活動は住民に安心感を与えたと思うが。市長 防火水槽は、消防庁の基準では中浜地区は満たしており40トン40分の消化が可能である。防火水槽の整備は国庫補助を得ながら整備を進めている。自衛隊の皆さんには、防災無線により直ちに出動され62人の隊員が、延焼拡大の防止に多大な貢献をして頂き深く感謝している。

問 多重債務者対策について、一人の職員では不十分であると思うが、各課の連携は。司法書士会との連携は。市長 庁内の連携会議は持つっており、窓口を通じての支援室との連携はとれている。税金や使用料面からは必ずしも充分ではない。司法書士会との連携は今後検討していきたい。

子供に何と説明するのか

市長
琴引浜は市の宝である
同志会
奥野 重治

問 掛津での採砂工事差し止め仮処分が、地元の人達から宮津地裁に提出される事態にまで発展してしまっ。京都府は本市が同意したから許可をしたそうだが。市長 府は総合的に判

断した事と考えている。**問** 網野を舞台にした4年前のNHKドラマ「中学生日記」は、リゾート乱開発工事に反対していく町民の姿が描かれていた。ナホトカ重油災害事故での自然を大切にすることを思

問 今年の新潟での海づくりの大会でも天皇陛下は、海を守るために山の木を大切にし、植林が必要だと述べられています。この砂山の松林の破壊は、海の生物にも悪影響を及ぼすことは必至である。天皇家が使われる「かんざし」が日本で2ヶ所にしか生息しない「ヤエウメ」という貝で作られている。そんな貴重な貝がいる浜の一つがこの琴引浜であるこ



こんな姿に誰がした。採砂工事の現場

陳情

陳情

京丹後市観光協会が旅行業法違反、並びに市がこの団体に毎年補助金給付している件について

陳情者 浜詰観光協会 代表 松本豊明

陳情の要旨

旅行業法違反の問題を指摘し改めるよう市に求めたが、京丹後市観光協会を何ら指導することなく補助金を出し続けている。市長の責任を問う。さらに、違法団体へ出した補助金の弁済を市長に求める。
〔産業建設委員会へ付託〕

審査報告

市は、その都度、監督官庁である京都府に指導を求め、平成20年3月には旅行業法の順守について丹後連

へ指導も行ってきた。また、京都府が6月に現地指導しその後を見守るとしているもとで、議会が違法かどうか判断することは適当でない。補助金に関しても同様であり不採択すべきと決定。

直営施設は燃油代の上昇分を補正している。指定管理施設は本来は市が責任を持つべき施設と位置づけ臨時的な処置として、今後出される上半期の決算状況など具体的な数値に基づき指定管理者と市の話し合いにより善処すべきであり採択すべきと決定。

本会議討論

議会が旅行業法違反にしっかりと対応してほしいという願意を受け止めた。また、関係者の名譽に関わる問題であると賛成討論。

結果 賛成者なく不採択

異常な原油高騰により、このままでは温泉施設が崩壊します

陳情者

温泉施設指定管理組合 代表者 糸井直隆

陳情の要旨

燃油を大量に使う温泉施設で原油高騰による影響は大きい。経営上の実態と問

題・窮状を理解いただき一刻も早い対処を求める。
〔産業建設委員会へ付託〕

入湯税に関する件について

陳情者

浜詰観光協会 代表 松本豊明

本会議で再付託

具体的な根拠となる上半期の決算状況などを見た上で審議すべきと再付託の動議が提出され決定した。

審査報告

3月の総務委員会での指摘以後も改善されておらず、

本会議

結果 賛成多数で採択
(賛成14 反対9)

行政不服審査委員会の設置について

陳情者

浜詰観光協会 代表 松本豊明

陳情の要旨

市の行っているさまざまな事業等においてあまりにも整合性がなく、差別と思われるを得ないことが行われている。行政が約束をくつ返し市民に多大な被害と迷惑をかけながら平然としている問題などについて一

市民が訴える制度や組織の設置を求める。
〔総務委員会へ付託〕

審査報告

現在、国において審議しているところであり継続審査と決定した。

掛津地区における自然環境を破壊する採砂工事の中止について

陳情者

網野町浅茂川 東 宜行

陳情の要旨

採砂工事で採掘される古砂丘は鳴き砂の供給源であり有名なクロ松などがある美しい景観を形成する貴重な自然環境ゾーンである。琴引浜の大自然は京丹後だけの宝物だけでなく国・世界の財産である。ナホトカ号・重油災害で励ましていただいた全国のみなさんの顔を思い出し、原点に返って自然保護のために声をあげることが必要である。鳴き砂と自然を破壊する開発工事に反対する決議をあげて京都府に意見書を提出するよう求める。
〔文教厚生委員会へ付託〕

本会議討論

賛成討論 採掘される古砂丘は、高温石英が50%以上含まれる貴重な砂であり鳴き砂の供給源である。今は亡き三輪茂雄教授が、琴引浜は以前にもまして自然環境の保護に努めなければならぬと言われてきた。琴引浜は、国の天然記念物及び名勝に指定され鳴き砂は国民の財産であり、計画や条例などで環境を守ることが宣言する町として、美しい自然と景観を破壊する開発行為を止める決議をして

結果 賛成少数で不採択
(賛成9 反対13)

反対討論

提出者の自然環境、琴引浜を京丹後市の宝との思いは理解できる。基本的に法令や手続きに不備が無く、京丹後市の開発協定に基づき事前協議やモニタリング調査も行われている。文化庁も鳴き砂への影響はないと言われている中で地元のみなさんの意向が大事である。この問題は土地の所有者と鉱業権にともなう民間同士の問題である。



採砂工事現場

陳情

審査報告

委員会採決は、法的に問題がなく止めることができないという立場、自然体系を壊し影響がはかり知れないとする立場が同数になり委員長判断で不採択すべきと決定。

市民の皆様にご身近で信頼される議会をめざします。

動きだした議会改革！

ぜひご参加ください



久美浜市民局での報告会
多数のご参加ありがとうございました。

陳情の審議も

市内の方からの陳情について、議会運営委員会で扱いを協議し、審議の取り扱いを決定する事としています。なお、詳しくは議会事務局にお問い合わせください。
議会基本条例に基づき、一歩ずつ議会改革をすすめます。

議会報告会を

旧町ごとの会場で、各定例会の報告会を、8月からはじめました。これは、議会活動の情報を積極的に公表し、透明性を高め、説明責任を少しでも果たせればとの目的からです。

市民の声

地域に根ざした文化のかおり



峰山町杉谷
谷川正義

京 丹後市文化のまちづくり実行委員会の運営委員として関わって、2年目から市民参加の事業としてぜひ「第九コンサート」をやるという事になり2年がかりで取組んできました。昨年12月の「市民でつくる第九コンサート」は会場満席の観客と「丹後第九をつたう会」の会員270名の合唱で感動的な成功をおさめました。私もこの取組みに関わった一人として、市民の皆さんの大きなエネルギーに感動したものです。この中心となった「丹後第九をつたう会」はその後約1000名の合唱団として継続して次のステップをめざして活動しています。このように一つの

事業の成功が地域に根ざして定着してきている事が大きな成果であり、行政と民間が文化の取組みで、一緒に組織として動いた結果としても他の自治体にはあまり例のない特徴でした。また、この取組みの中で峰山総合福祉センター・コミュニティホールに市民の寄贈によってグランドピアノが設置できたのも大切な出来事でした。

文化には幅広くいろんなジャンルがあり、音楽だけでもクラシック以外の分野に多くの人に関わっていますし、映画、演劇、舞踊、伝統芸能その他いろいろな分野でそれぞれ活動されています。この丹後の地にそれぞれの分野の活

動を継続・発展させていくために、何が必要でしょうか。若者に丹後へUターンしてほしいという願いはみんな同じでも、彼らを引き動かす魅力が必要です。文化のかおり、あふれる京丹後市のまちづくりはきつとその魅力のひとつになると思います。

一回限りのイベントにお金をかけるより、長い目でみて文化活動を育てていく環境づくりこそが大切ではないかと思えます。音楽の分野でいえば、若者がロックバンドや和太鼓など、気兼ねなくガンガン音をだして練習できる防音施設のある会場づくり、もつとピアノのある会場を増やす事、ミニコンサートなどができる小規模で安くて借りられる会場の確保など、市の遊休施設の活用や民間の協力で創意と工夫によって実現可能な事は

あると思います。行政にはそれらの文化活動の要望や動きをしっかりとつかんで育てていく、サポートしていくという観点が必要ではないでしょうか。地域に根ざした文化活動がまちにあふれば、若者をふるさと丹後に引き付ける要素の一つに、また中高年齢層の人たちが一層、生き生きと活動できる丹後のまちになっていくと期待するものです。



感動的な成功をおさめた第九コンサート（丹後文化会館）



今年の京都北部の米の作況指数は101で、実りの秋にふさわしい収穫でした。しかし、経済情勢は、不況が更に深刻化し、先の見通せない不安と心配がつるばかりです。

さて9月議会では前年19年度の各決算認定はしたものの、きわめて厳しい財政状況が明かになる一方で、決してあつてはならない不適切な会計処理が発覚し、決議までいたしました。

新たな議会活動としては、議会基本条例に基づき、定例会ごとの議会報告会と市民の方からの陳情の審査をはじめました。また、今回の発行誌から「市議会、だより」といたしております。皆さまのご意見をお寄せ下さい。

◎広報編集委員会

委員長	奥野 重治
副委員長	足達 昌久
委員	志水 一洋
委員	田中 邦生
委員	松尾 信介
委員	松本 経一
委員	吉岡 和信